

アドバイザー派遣事業 実施レポート

西部学びの会
代表 狩野 実

1. 研修テーマ 学校全体で取り組む「学び合い」への授業改善
2. 研修日 平成27年10月8日（木）
3. アドバイザー 杉江修治 教授（中京大学）

4. 研修のまとめ

県西部のいくつかの学校と共に協同学習に取り組み、「西部学びの会」を立ち上げてから6年目を迎えた。授業研究の際には、学校間でお互いに声を掛け合い、授業を見合いながら、研修を深め合っている。今年は、1学期、2学期の2回杉江先生に指導を受け研究を深めた。本年も、そういった学校が集まり、教育センターの支援を受けながら研修を計画・実施することができた。今回の研修では、次の2つの視点を定め、授業研究を行った。

- 視点1 生徒にとって「課題が明確で、振り返りは適切だったか」
- 視点2 生徒が「めあての達成に向けて、学び合い・高め合いができていたか」

* 【授業者の自評】

めあて（課題）の工夫が必要だと感じた。今回のめあて（課題）だと、話し合いが個人思考の活動にとどまり、“みんな”で深める活動にならなかった。学び合いが、単なる活動で終わってしまった。みんなが学び合い、それによって深まり合う授業（協同学習）としていくために、めあて（課題）をしっかりと考え、生徒に提示していくことが大切だと感じた。

* 【事後の研究会】

事後の研究会では、上記2つの視点を中心に、様々な学校の先生とマトリクス法によるグループ討議を行い、①工夫・良かった点、②手立て・改善が必要なことについて8つのグループで話し合いを行った。その後、8グループの中から2グループを指名して発表し、全体で共有した。各グループの内容をまとめると以下の内容である。

①工夫・良かった点、さらに伸ばしたいこと	②手立て・改善が必要なこと
<ul style="list-style-type: none"> ・課題は賛成・反対でわかりやすい。 ・めあてがわかりやすい、 ・意見を提供しそれについて練る場面が見られた。資料を根拠にして情報を探していた。 ・生徒みんなが授業に参加しようとしていた。 ・一度全体で意見を出し合っているので個人で考えやすい。 ・個人で考えさせるための材料を集めるために、賛成・反対を決定したのはよかった。 ・ホワイトボードの持ち方や声の大きさなど見る人、聞く人への意識が高まると良い。 ・廊下の掲示・図書がよい。 ・教え合いが和やかな雰囲気であった。 ・学習スタイルが確立されつつある。 ・生徒が人の意見に流されやすい実態を踏まえ 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてと振り返りの一体化、活動に対する動機づけ。 ・めあてを具体的に→つきたい力を明確に→評価につながる。 ・目的・ゴールが見える班活動、班の中での意見交換、資料活用、相手を納得させるための資料提示 ・もっと意見の対立をさせても良いのでは。賛成と反対でやりとりをさせる。 ・個人の意見の出し方がバラバラで、一部の生徒のみの意見で進んでいる班があった。 ・話し合いの仕方・説明の徹底、時間配分の工夫 ・教材提示の仕方（テレビ、黒板等の字の大きさ）。

た授業になっていた。

・賛成・反対だけで終わらせるのではなく、歴史的意味づけも振り返らせる。

アドバイザーの杉江先生からは、「学校全体を通して子ども達がしっかり挨拶ができていて明るく、生徒の表情や雰囲気がとてもよいことや廊下の掲示物や新聞コーナーなどとても良く、学習環境が充実し、学びの環境作りができています。」という評価を受けた。

授業においては、授業参加意識が高く主体的に学習できる集団であり、生徒が普段より頑張っていることから、教師と生徒の信頼関係ができていて、そして協同学習に大切な学級経営ができていて学び合いもできていた事、意見の相違のしかけは、生徒がより意見を出しやすい工夫になっていた事、説明を加えながら今日の流れを押さえた点は生徒にとって見通しが持てて良かった事などの評価ももらった。

課題としては、めあて「考える事ができる」のような表現は曖昧であり、「根拠をもった考えができる」などの基準を示した方が良かった事、またその理由や考え方の根拠「～だからこうです。」の答え方、課題の絞り込みがもう少しあった方が話し合いに達成感が持てた事などの教師のしかけの大切さや話し合いの仕方の指示が大切である事などの指摘を受けた。1学期に引き続き、今年度2回目の研究会になったので、本校の教員はもちろん、校区の小学校の先生にとっても、協同学習について改めて共通理解できたことが今後の小中連携にとっては有益だった。

生徒同士の「学び合い」は、仲間作りはもちろん、学力面でもプラスに働くものであると考えている。今後もそれぞれの学校で「学び合い」の実践がさらに深まっていくように声を掛け合い、研修を深めていきたいと考えている。

5. 添付資料

- ・指導案、ワークシート